

パン屋さんごっこ再び！の予感...

7月…小麦粉粘土を焼いて遊んでみたところ、「パンみたいな匂い」「おいしそう」「食べていいの？」と子どもたち。

8月…本物のパンを作り、食べてみよう！と、パンクッキング。「からすのパンやさん」のように好きな形を作り、美味しく食べ、盛り上りました。

9月…美味しくできたパンをみんなにも食べてほしい！と、幼稚組全員分のパンを作り、パン屋さんになりきって振舞いました。

そして、11月～12月…すくすくのびのび展に向けて、飾れるパンを作ろう！と製作しました。

まずは、どんなパンを作りたいか決めるところから…いつも食べているパン（トースト系、甘いパン）の話をしてくれたり、パンの図鑑を見ていると、給食やおやつでは出したことのないパン（ナン、クロワッサン、バケット等）が好きだと分かって面白かったです。製作の数日前のおやつで出たパンを気に入って、そのパンを作りたいと決めた子もいました。

作りたいパンを決めたら次は素材選び…普段から馴染みのある新聞紙、画用紙、折り紙に加え、クラフトペーパーやカラー・ポリ袋、フェルト等も用意すると、自分のイメージに近いものを思い思いに選んで作りました。絵の具で染めてさらにイメージに近づけたり、焼き色を表現したりして、同じ種類パンを選んでもそれぞれの個性が感じられる作品となりました。

出来上がったものを並べると「パン屋さんだ！」と大喜びで、「こちらは、ぼくの〇〇パンです」と得意げに紹介する姿があり、パン屋さんごっこが盛り上りそうです。

※また、パンの名前は自分で書いてみましたが、難しくても自分で書くことに挑戦したいという子ばかりで、文字への興味の大きさを感じられます。



がんばったおゆうぎ会

春から「おゆうぎ会何する？」と話題になる程楽しみにしていたおゆうぎ会。本番は全員揃わず残念でしたが、練習からお互いのチームを応援・認め合ったり、みんなで動きを合わせて踊ることの楽しさを味わえたことで、自信がついた様子の子どもたちです。他のクラスのおゆうぎもすぐに覚えて、まだまだ余韻を楽しんでいます。

